

## 演題

### 義歯の機能と審美

氏名 佐藤 幸司

## 抄録

超高齢社会を迎え高齢者歯科医療と共に訪問歯科医療も増加傾向になって来ているようである。義歯患者の咀嚼機能の回復と共に、摂食嚥下や睡眠時無呼吸といった高齢者歯科医療の充実も求められ、義歯の質的需要が高度化しています。

また、歯科医療現場も高度に発達した医療技術の進歩により、無歯顎者の疾病構造も著しく変化してきていると思われます。そこで、義歯製作もより簡便で、客観的な根拠から効率的な義歯の製作システムと供給体制が求められている。

一方、無歯顎補綴の設定基準から、歯冠修復・インプラント補綴製作においても参考になる咬合設定基準について考察したいと考えています。

日本審美歯科協会 40 周年記念講演会では、『義歯の機能と審美』について考察し、無歯顎臨床で最も重要な要素である印象採得・咬合採得から得られた臨床模型を分析し正確に咬合器装着を行い、客観的な人工歯排列と咬合について講演する予定です。

歯科医師の診査診断による治療計画を基に、症例を担当する歯科技工士も共有し、各ステップを慎重に進めることが重要であります。

そこで、模型を大別すると、概形印象体と機能印象体に分類され模型上に表現された組織を熟知し臨床模型の分析及び解析が重要な鍵となります。

最後に下顎義歯の吸着メカニズムとデジタルデンチャーの「歯科技工の動向」について考察し、時間の許す限り聴講して頂いた先生方と共に有意義な講演会になれば幸いです。

## 略歴

- 1976 年 大分県歯科技術専門学校卒業  
納富哲夫先生に師事（霞ヶ関歯科ポストグラジュエートセンター）
- 1985 年 佐藤補綴研究室開設
- 1980 年 東海歯科医療専門学校非常勤講師
- 1985 年（公社）日本歯科技工士会生涯研修認定講師
- 1990 年 名古屋市立大学医学部研究員第一解剖学教室入局（2006年まで在籍）
- 2002 年 BPS公認 国際インストラクター（イボクラール）
- 2003 年 明倫短期大学 臨床教授（2020年3月まで）
- 2009 年 台北医学大学口腔医学院 臨床教授（2010年3月まで）
- 2009 年 名古屋歯科医療専門学校 非常勤講師
- 2017 年 神奈川歯科大学顎咬合機能回復補綴医学分野 特任講師（2023年3月まで）
- 2023 年 愛知学院大学歯科技工専門学校 非常勤講師

定非営利活動法人）日本顎咬合学会：指導歯科技工士

公社）日本歯科技工士会生涯研修認定講師

藤補綴研究室（名古屋市開業）佐藤 幸司

（著 書）

『効率的な総義歯製作の技法』（共著・1998年 第一出版）

『初心者のための総義歯製作法』（共著・1999年 クインテッセンス出版）

『下顎吸着義歯とBPSパーフェクトマニュアル』

（共著 2011年クインテッセンス出版）

『技工に強くなる本』上、下、巻（共著・2012年 クインテッセンス出版）

『超高齢社会を見据えた』パーシャルデンチャーの製作（編著・2016年 医歯薬出版）

『エビデンスに基づく総義歯製作』書籍（著・2018年 医歯薬出版）